

シミュレーション教育による人材育成

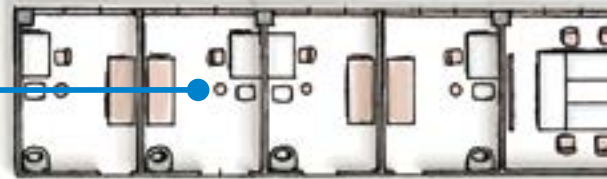
島根大学医学部附属病院クリニカルスキルアップセンター センター長 狩野賢二

近年、医師不足、看護師不足、医療事故などの医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。しかし、医療の知識や技術は経験が重要であり、従来型の医学教育では医療者の養成に時間がかかるばかりでなく、医療安全においても問題がありました。したがって、最近は多くの医療施設で医療技術のトレーニングのために医療シミュレータを用いるようになりました。医療シミュレータによる経験は、実臨床の経験に匹敵すると言われるくらい重要です。

地域の模擬患者さんにご協力いただき、積極的に医療面接のトレーニングを実施



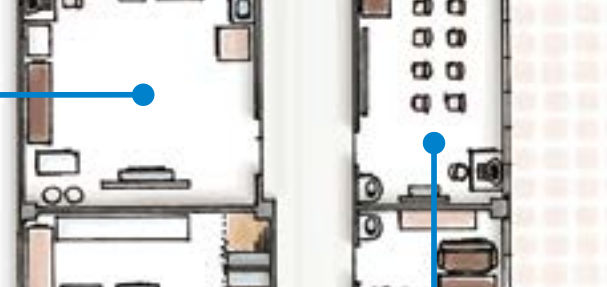
島根大学医学部附属病院
外来診療棟2階



カーテンを引くと4床部屋となるため様々なトレーニングが実践可能



シミュレータ“HPS”では麻酔管理や薬物投与による生体反応を確認しながらのシミュレーショントレーニングが可能



各実習室に設置されているカメラの映像を視聴しながら研修をすぐに振り返ることができるため、より効果的なトレーニングがおこなうことが可能

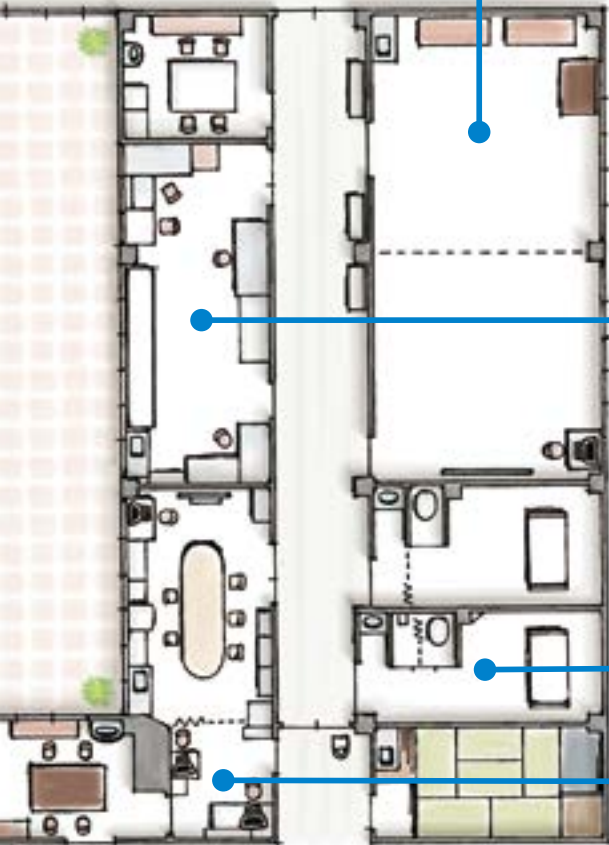


U P C E N T E R

島根大学医学部ではシミュレーション教育を専門に担う部署として附属病院にクリニカルスキルアップセンターを平成21年10月に開設致しました。開設当初は看護学科棟に3部屋の実習室で活動していましたが、附属病院の再開発工事に合わせて平成24年10月に現在の外来棟2階へ移転致しました。クリニカルスキルアップセンターの実習室は総面積499㎡で研修目的に応じた17部屋があり、高機能シミュレータ6種類8体、中機能シミュレータ28種類82体、手技訓練シミュレータ45種類452体を保有しています。クリニカルスキルアップセンターは、地域における医療技術の向上に貢献し地域に根ざす医療人育成を支える人材の創出に貢献するために、各医療機関と密接に連携してシミュレーション指導者の養成を行っています。



総面積：499㎡（廊下含）



集合研修などにも利用できる広めのスペースで、可動壁で2部屋に分けることが可能



採血やエコーを学ぶことができる



当院の病室は大きく分けて2パターンあり、勤務する病棟と同環境でのトレーニングが可能



クリニカルスキルアップセンター受付

クリニカルスキルアップセンターの シミュレーション研修

新人看護職員研修に必要な要素

新人看護師研修は、受講者の人数、必要とする研修内容などにおいて既卒の医療者とは異なった特徴があります。新社会人としての緊張もあり、医療者としての不安も強いと思います。研修に適した研修体制が望めます。クリニカルスキルアップセンターは、シミュレーション教育に適した実習室と幅広い医療技術に対応するシミュレータを保有しています。したがって、新人看護師研修で重要なのがシミュレーション教育の指導者育成です。



- ① 受講者数に応じた実習室の広さ
- ② 研修の目的に適う医療シミュレータ
- ③ 有効なシミュレーション教育を
実践できる指導者

1. シミュレーション教育 インストラクター養成コース (Sim-INT)

1年間のコースで全11回のシミュレーション教育を行い、シミュレーション教育の指導者育成を目的としています。フィジカルアセスメントなどの知識だけでなく、指導のポイント、シミュレータに関する知識も習得できるコースです。受講者数によってはグループに分けて月に2～3回開催し、少人数制にすることでより効果的な学習を可能としています。

● 受講資格

医療職の国家資格を有し、臨床経験5年以上
院内教育などの指導経験2年以上
(臨床経験に含まれる)
全11回の全て受講すること

● 受講定員

各施設3名以内

Sim-INT



2. 医療シミュレータ インストラクターアドバンスコース (INT-ADV)

シミュレーション教育インストラクター養成コースを修了された方が対象のコースで、シミュレーション教育指導者として更なるレベルアップを目指すことを目的としています。このコースではシナリオの作成から指導まで実践します。

INT-ADV

6月

呼吸フィジカル徹底コース

呼吸に関連するフィジカルアセスメントの知識と技術を再確認した後に、呼吸困難症例のシナリオを体験学習する

9月

循環フィジカル徹底コース

脈診、血圧、聴診、心電図の知識と技術を再確認した後に、心不全のシナリオを体験学習する

12月

急変初期対応コース

患者急変の評価と初期対応の実技を行う



3. シミュレーション教育 インストラクターネットワーク (INT-Net)

近隣の医療機関が合同で研修を実施しています。シミュレーション教育インストラクター養成コース修了者が指導者としての実践の場です。各医療機関が合同で研修することによって自施設の現状などの意見交換ができ、医療の質の向上につながっています。

INT-Net



4. 島根県看護協会主催 多施設合同新人看護職員研修

平成 22 年 4 月 1 日より新人看護職員の臨床研修が努力義務となったことから、厚生労働省によって新人看護職員研修ガイドラインが策定され、研修体制として新人看護職員が少ない施設や小規模病院等においては外部組織の活用が記載されており、研修方法にもシミュレーション教育が推奨されています。クリニカルスキルアップセンターは、島根県全域におけるシミュレーション教育の一環として、島根県看護協会主催の多施設合同新人看護職員研修にも平成 24 年から協力しています。当初は、BLS、呼吸音聴診、心音聴診、採血、経管栄養、吸引、導尿を 2 日間で、指導者 4 名によって受講者 32 名の実習を行いました。

その後、平成 27 年からは、患者急変のシナリオを実施するために 1 日追加して 3 日間を 2 回として、指導者 6 名で受講者が 117 名になりました。この時の受講者から「患者さんの前では疑問に思っていることを口に出すことができないけどシミュレーションを行うことでその場で理解することができてよかった。」「心音聴診のシミュレーション研修は、内容が難しかったけど臨床ですぐに活用してみることができそうで興味深く学んだ。」「急変時はいつも緊張し、具合が悪くなるので苦手意識があったが、積極的に動くための自信が少しついて非常にためになった。」などの感想が寄せられました。

多施設合同新人看護職員研修のタイムスケジュール

第 1 日目

開始	終了	時間	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
10:00	10:15	0:15	オリエンテーション			
10:15	10:20	0:05	移動			
10:20	10:40	0:20	胸骨圧迫 人工呼吸	除細動		窒息解除
10:40	10:45	0:05		移動		
10:45	11:00	0:15		窒息解除	除細動	
11:00	11:10	0:10	移動			
11:10	11:25	0:15	除細動	窒息解除		胸骨圧迫 人工呼吸
11:25	11:30	0:05	移動			
11:30	11:45	0:15	窒息解除	除細動		
11:45	13:00	1:15	昼休み			
13:00	13:40	0:40	採血	栄養	吸引	導尿
13:40	13:45	0:05	移動			
13:45	14:15	0:30	導尿	採血	栄養	吸引
14:15	14:25	0:10	移動			
14:25	14:55	0:30	吸引	導尿	採血	栄養
14:55	15:00	0:05	移動			
15:00	15:30	0:30	栄養	吸引	導尿	採血
15:30	16:00	0:30	まとめ			

第 2 日目

開始	終了	時間	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
10:00	10:30	0:30	オリエンテーション&講義			
10:30	10:35	0:05	移動			
10:35	11:35	1:00	血圧・脈診	モニター	呼吸聴診	心音聴診
11:35	12:35	1:00	昼食			
12:35	13:35	1:00	心音聴診	血圧・脈診	モニター	呼吸聴診
13:35	13:40	0:05	移動			
13:40	14:40	1:00	呼吸聴診	心音聴診	血圧・脈診	モニター
14:40	14:45	0:05	移動			
14:45	15:45	1:00	モニター	呼吸聴診	心音聴診	血圧・脈診
15:45	15:50	0:05	移動			
15:50	16:00	0:10	まとめ			

第 3 日目

開始	終了	時間	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
10:00	10:10	0:10	朝礼			
10:10	11:00	0:50	シナリオA	シナリオA	シナリオB	シナリオB
11:00	11:10	0:10	移動			
11:10	12:00	0:50	シナリオB	シナリオB	シナリオA	シナリオA
12:00	13:00	1:00	総括			

※シナリオ A、B は、患者急変対応シナリオ



5. コロナ禍における新人看護職員研修

多施設合同新人看護職員研修は、令和2年からコロナ禍によりクリニカルスキルアップセンターでの開催が困難になったため、出雲市内の会場で1回14名の少人数で2日間のコースを2回実施して参加者を28名に限定しました。研修内容は、シミュレータの実習で密にならないように手技ごとに動画コンテンツを活用しました。また、令和2年から同4年はコロナ禍が続いておりSim-INT、INT-ADV、INT-Netの開催も困難になった。しかし、病院の研修開催が困難になったということは、看護師養成学校における実習も思うようにできなくなっておりコロナ禍で卒業した新人看護職員は例年以上の不安があったと思います。そこで、従来はクリニカルスキルアップセンターで他施設の新人看護師研修は受けていみせんでしたが、臨床経験2年未満の新人看護師を対象とした地域医療者研修を実施しました。この研修は、各病院単位で個別のオリジナル研修として令和3年に8施設から24名、令和4年は7施設から37名の申し込みがありました。また、Sim-INTの代わりに1回

で完結する指導者研修を年3回実施して、令和3年に15施設から75名の参加があり、令和4年は17施設から55名の受講者がありました。新人看護師研修および指導者研修の何れも、研修開始14日前から島根県内に滞りし感染リスクとなる行動をとらないこと、および、受講2週間前から健康管理票を記入するなどの感染対策を行ったうえで1回当たりの受講者人数を6名までとして研修時間も3時間以内としました。このように、コロナ禍では対面で行うシミュレーション教育には制約が多かったのですが、オンラインまたはオンデマンドによる医療手技の教育は受講者の反応を十分把握できないことから、シミュレーション教育に代わるものでなく補助的手段だと思われました。

令和5年になりコロナ禍の状況も変化していますが、少人数制のシミュレーション教育、および動画の活用などは、感染対策だけでなく教育効果も高いことから今後もこのような研修は継続すると思います。

取材のご協力

この度はお忙しい中、取材にご協力頂きありがとうございました。



筆者紹介

島根大学医学部附属病院
クリニカルスキルアップセンター
センター長 狩野賢二

医療における人材育成は、経験から学び、その内容を次の経験に活かすことが重要だと思います。この意味においてシミュレーション研修は最も効果的な学習方法の一つです。シミュレータを十分に活用して多くの経験をして頂きたいと願っています。



施設情報

島根大学医学部附属病院クリニカルスキルアップセンターは、医学生、看護学生などの医療系学生、研修医、医師、看護師、薬剤師、検査技師などの医療専門職を対象に、医療に関する様々な技能トレーニングの機会を提供します。